

スマホで簡単 コード決済



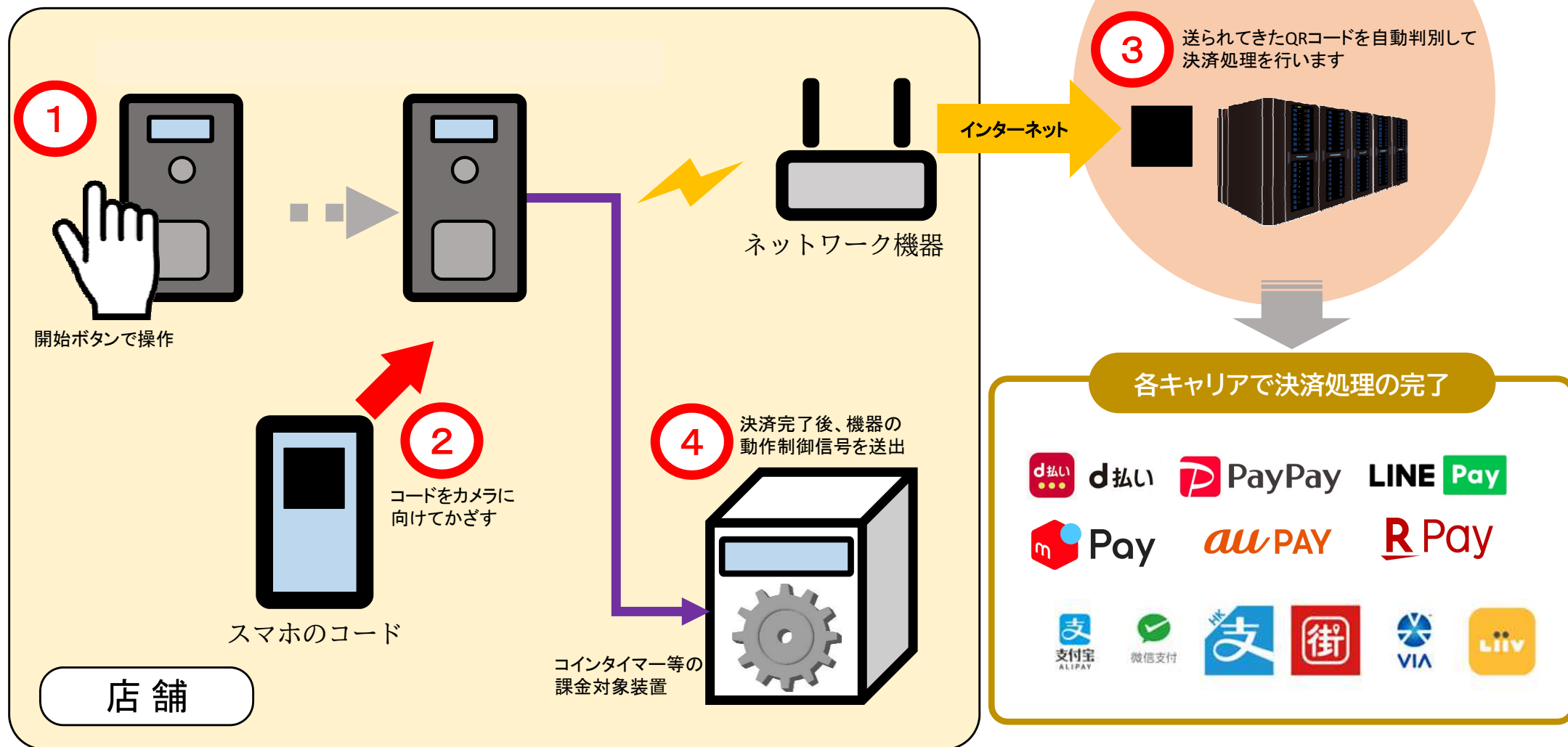
ALA Pay<sup>+</sup>

コード決済・課金信号送信機



# 概要

- ①開始ボタンでカメラスキャンが開始されます。
- ②スマホのコード決済アプリのコードをカメラ部分へかざします。
- ③決済代行サーバーで自動的にどのコード決済サービスかを判別し決済が行われます。
- ④決済完了後、機器への制御信号を送出します。

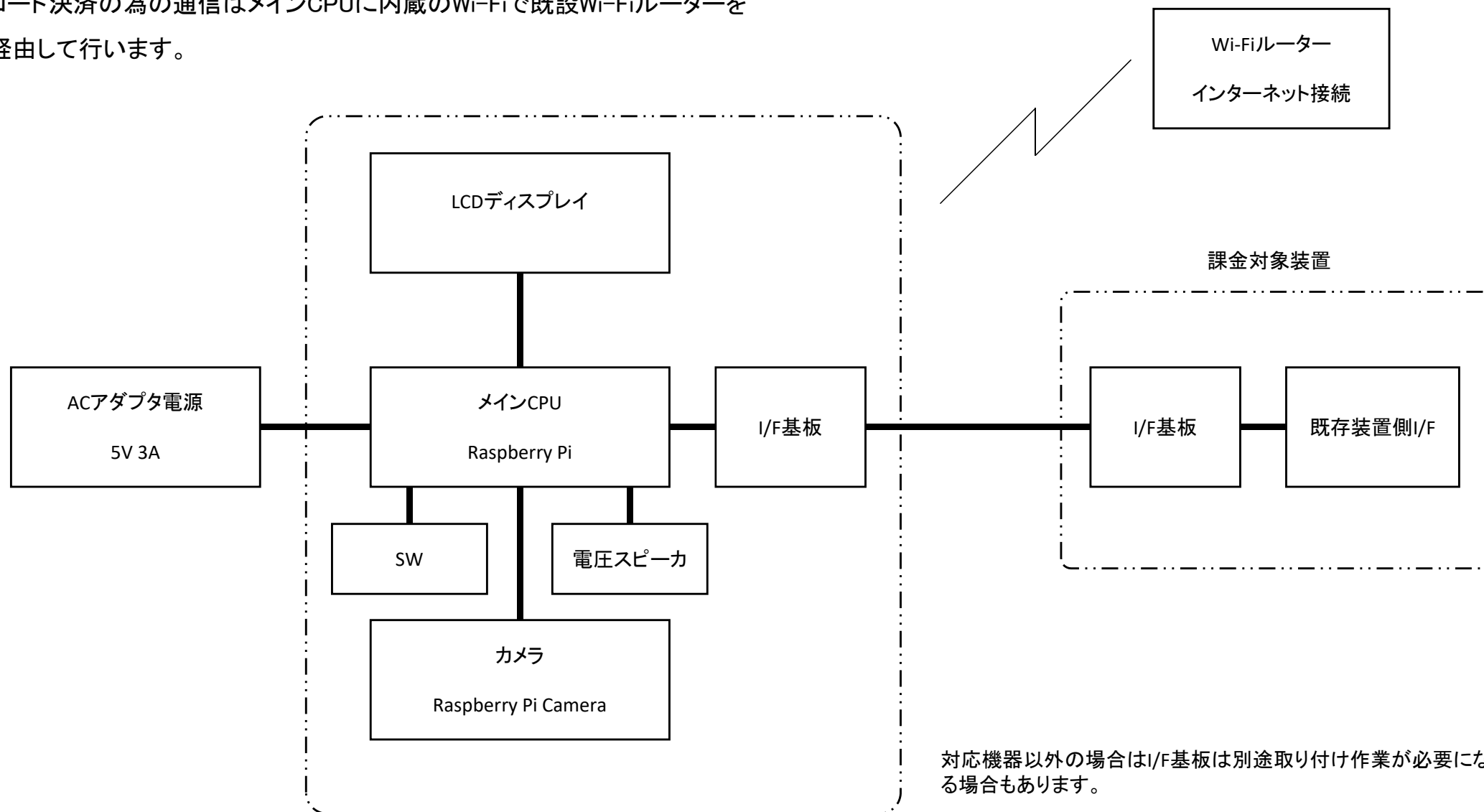


# 構成

本体はRaspberry Piベースの構成とし、LCDディスプレイ、スイッチ、カメラを接続。

I/F基板を通して課金対象装置に制御信号を送出します。

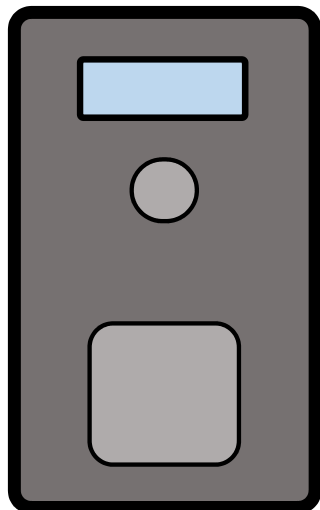
コード決済の為の通信はメインCPUに内蔵のWi-Fiで既設Wi-Fiルーターを経由して行います。



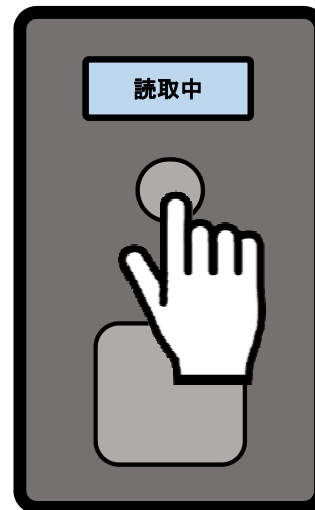
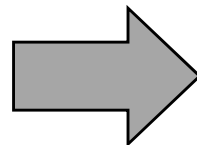
# 操作イメージ

シンプルな画面表示と、わかりやすい操作でコード決済をおこないます。

あらかじめ決められた金額で、決済するタイプの画面イメージです。

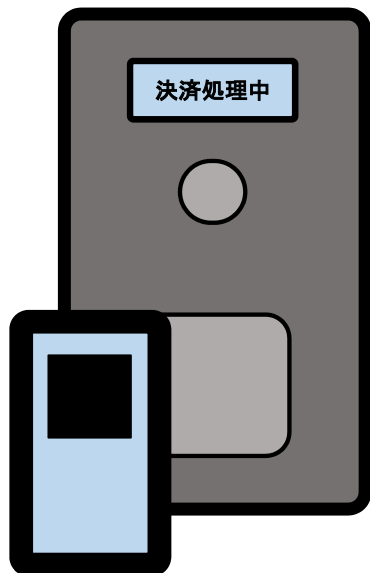
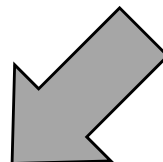


待機中、画面には何も表示されていません。

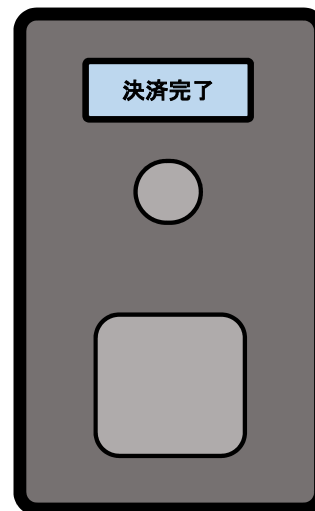
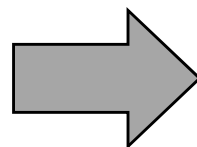


開始ボタンを押します。

ディスプレイに「読取中」と「決済金額(例:¥200)」が交互に表示されます。



カメラ部分(機器の下部)にスマホのコードをかざし機器が認識すると「決済処理中」と表示されます。

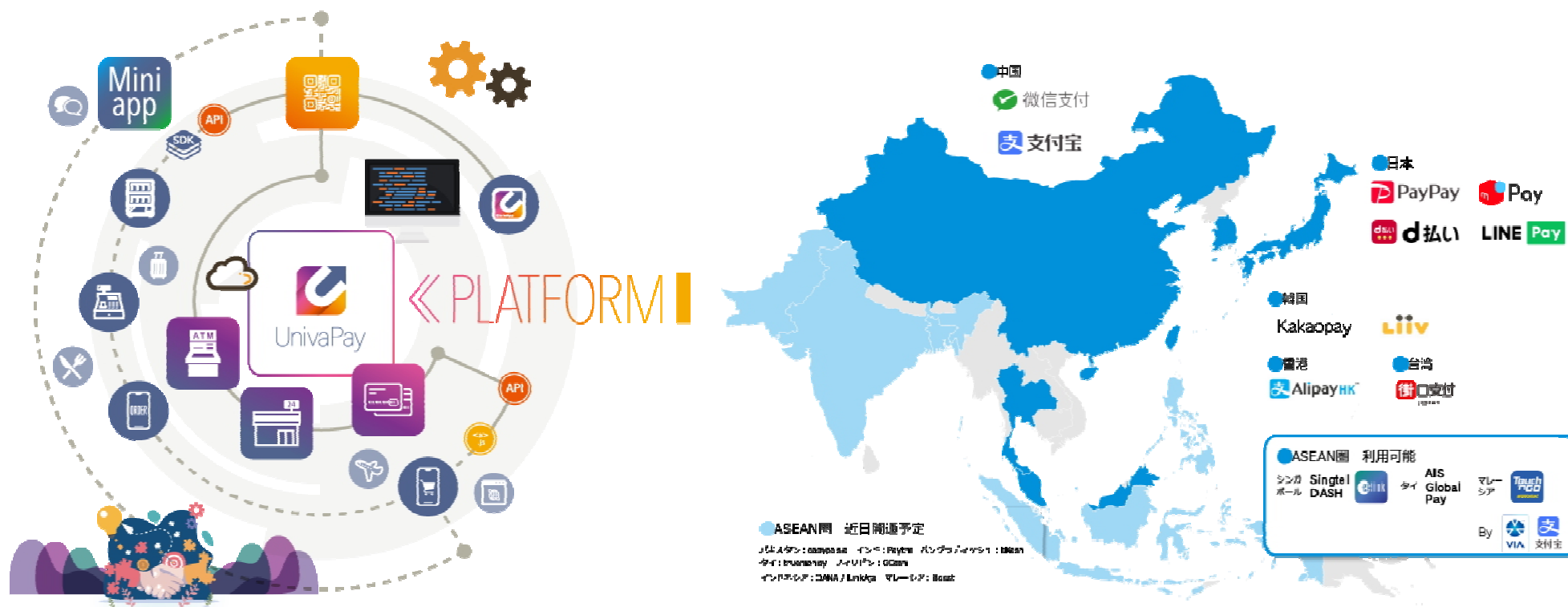


決済処理が完了すると、ディスプレイに「決済完了」と表示され、課金対象機器に制御信号を送ります。

# QRコード決済について

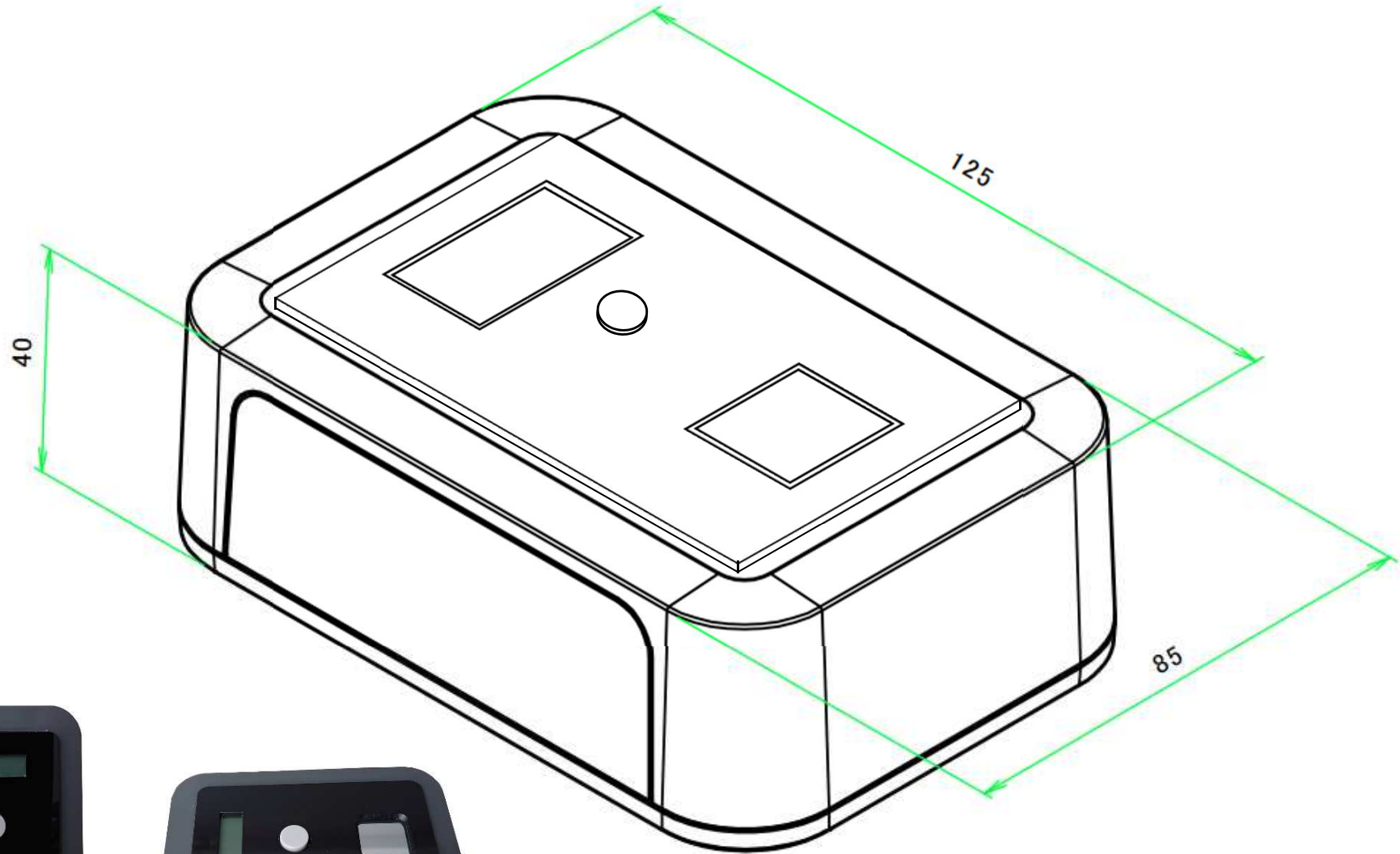
コード決済については、(株)ユニヴァ・ペイキャストの決済代行サービス「UnivaPay」を使用します。

導入店舗・施設様においては、「UnivaPay」加盟店としてご登録いただき、コード決済の為のアカウント取得を行っていただきます。



画像は「UnivaPay」WEBサイトイメージより、「UnivaPay」のシステムイメージと、対応決済サービスのイメージを転載。  
URL: <https://www.univapay.com/>

# 外形図



寸法図

デザインは予告なく変更になる場合があります、ご了承ください。